

複合的危機における「人間の安全保障」の実践

1 制度や物理的インフラの役割

人々の能力強化（エンパワメント）の可能性拡大、社会の強靱性（レジリエンス）向上。

（例）[公共交通](#)による安全、快適、低廉で信頼性の高いアクセス提供

（例）[都市開発、M/P協力](#)、課題と将来を包括的に見る目

2 平時からの協力関係、信頼

各国の対応能力向上、国を超えてASEAN地域での制度化、多様なパートナーとの連携、信頼関係の構築（日ASEAN↔専門家同士）。

（例）[ASEAN 災害医療連携強化プロジェクト（ARCH Project）](#)

3 災害に強靱な社会づくり

災害リスクは複合的、物理的・社会の脆弱性にアプローチ、BBB実現に譲れない一線。

BBB : Build Back Better（より良い復興）

（例）[ネパール震災復興](#)

まとめ

- 開発協力大綱：「人間の安全保障」を我が国のあらゆる開発協力で通底する指導理念
- 人間中心に立ち、状況を包括的に理解し、協力を落とし込んでいく
- 「人間の安全保障」を価値基準として、粘り強い関与、共感と信頼

論点 ODAにできること、ODAにしかできないこと。